

現地生産を拡大し、さらなる発展を目指すアルメーレ工場

SESE社は1989年、シリコーン事業のヨーロッパの拠点としてオランダに設立されました。工場では、欧州市場のニーズに応えるため、生産性や品質の向上など、さまざまな取り組みを進め、さらなる発展を目指しています。

アルメーレ工場

SESE社の工場は、オランダの首都アムステルダムから東約30キロにあるアルメーレ市にあります。同工場では、接着・シールや型取りの用途に使用するRTVシリコーンゴムの生産をメインに行っています。今後、現地のお客様への安定供給を図るため、現地生産の拡大を進めていきます。

コスメティック アプリケーション ラボ

コスメティック アプリケーション ラボは、2012年10月、フランスのリヨンに開設されました。同ラボでは、化粧品用シリコーンの製品開発やシリコーンを用いた化粧品の処方開発を行っており、現地ユーザーに密着した活動を行っています。



SESE社のヨーロッパの拠点

- ① オランダ 本社 / 工場
- ② ドイツ ドイツ支店
- ③ フランス コスメティック アプリケーション ラボ

TOPICS

工場周辺はこんなところ

農地から住宅地に変貌を遂げ、発展を続けるアルメーレ

本社および工場のあるアルメーレ市は、かつて存在したゾイデル海の開発事業により造成された干拓地で、フレヴォラント州にあります。1968年に干拓が終了したオランダでは新しい地域ですが、アルメーレ市は、すでに20万人を超える人口となっています。もともと、農地として干拓が進んだ地域ですが、首都のアムステルダムまで約30kmという立地から、住宅地としての需要が高く、2030年までに人口を35万人(オランダ第4の都市ユトレヒト市に匹敵)にするという市の計画があります。実際、工場付近では都市計画に基づく“街づくり”の様子を見ることができます。また、工場の近くでは、写真のようにマルケル湖(干拓前はゾイデル海)と干拓地の境界を見ることができます。



マルケル湖と干拓地